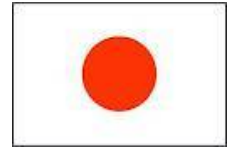




アフガニスタン

～その光と影～

講演会 & 討論会



2012年5月26日(土) 13:30 - 17:00

カレーズの会 代表レシャード・カレッド氏

演題 「アフガニスタン～その光と影～」

多くの国と国境を接し地理的にも重要な位置にあるアフガニスタンは、他国の思惑に翻弄され長く紛争の場となってきました。

一方でアフガニスタンには素晴らしい文化があり、そこには日々を生活している人々が確かにいます。アフガニスタンの光と影をアフガニスタン出身のレシャード氏が語ります。

南山国際校ティベート部有志討論会

テーマ 「今、日本はアフガニスタンに何ができるか」

南山国際校有志による討論会。

「日本はアフガニスタンにどのような支援ができるか」というトピックで議論します。

主催: 独立行政法人国際協力機構(JICA)
南アジア部

協賛: 駐日アフガニスタン大使館

日時: 2012年5月26日(土) 13:30～

会場: なごや地球ひろば

名古屋中村区市平池町 4-60-7

参加費: 無料

問い合わせ先: 南アジア部代表

Tel: (03) 5226-8638

e-mail: 4rtd2@jica.go.jp



「カレーズの会」による写真展示も同時開催中！！

レシャード・カレド氏（62）は、アフガニスタンのカンダハル生まれ。1969 年に来日し、千葉大留学生部を経て京大医学部を卒業、医師となり、87 年に日本に帰化しました。

設立した NGO の「Karez」とは現地の言葉で「地下水脈」という意味です。一人ひとりの力は一滴一滴であっても、集まれば大地のもとを走る大きな流れになります。また、控えめで目立つことがなくても、縁の下の立役者としての役割を全うする—

「カレズ」にはそんな願いが込められています。

「人間の尊厳のために」をモットーに掲げる南山学園は 1978 年から帰国子女受け入れを開始。

現在、南山国際高等学校・中学校では 600 名以上の世界各国からの帰国生や留学生が学んでいます。

国際協力機構（JICA）は 1960 年代からアフガニスタン支援を続けています。

現在は教育、保健、農村開発、インフラなど様々な分野で、アフガニスタンが自らの力によって未来を拓いていけるような国造りのお手伝いをしています。